

やつでかつどうそしき

## ハッ手活動組織（原村）

・組織の活動面積	A=	66	ha
・組織の構成員数	約	158	人

組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) □	資源向上(長寿命化) ■
取組開始年度	平成27年～	—	平成27年～

構成員	ハッ手区民 農家
-----	----------

### 組織の概要

・ハッ手区は、400年の歴史をもつ村内では中規模の集落である。農業に関わる家が多く、米作とセルリーなど高原野菜の出荷が盛んである。ほ場整備が早くに実施され、直線の農道、整地された田んぼや畑が緩やかな斜面に広がっている。ただ寒冷地のため冬季に水路等が傷みやすく、毎年修繕を必要としている。本組織は、代表以下8名の役員で運営されている。役員会、現地調査、作業等で息の合った活動ができ成果を上げている。3月の定期総会では、用意した資料が足りなくなり、区民の期待の大きさを感じた次第である。

### 役員・区民による協同作業



3月、以前から要望が出ていた用水路の補修工事を急遽行う事になった。役員と呼びかけに応じてくれた区民とで用具と資材を持ち寄り、半日でほぼ予定通りの修繕を終えることができた。みんなで力を合わせるとかなりの仕事ができることが分かった。また、本事業のありがたさを実感した活動となった。

10月、用水路の取水と排水で大変重要な区内を流れる前沢川の河川整備を行った。だいぶ前に護岸工事をして以来ほとんど手づかずの状態、川の中は草木が伸び放題。見兼ねて本作業を計画した。草刈りや木の伐採、流れを広げる作業をした結果、清々と水が流れ、さわやかな川に生まれ変わった。

区民の理解と協力の輪が広がりつつある。

